

|                                                                                                                                          |                                                                                                                          |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <div data-bbox="108 136 277 280" data-label="Image"></div> <p>日野中だより 6号</p> <p>発行：令和2年8月28日（金）</p> <p>文責：佐世保市立日野中学校</p> <p>校長 池田 美祐紀</p> | <p>校訓 学校教育目標</p> <div data-bbox="730 143 837 286" data-label="Image"></div> <p>心豊かで活力に満ちた生徒の育成</p> <p>学びあい 認めあい 支えあい</p> |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

## 前期後半が始まりました！

23日間といういつもより短い夏休みが終わり、いよいよ前期後半の授業が始まりました。子どもたちは、まだまだ休み足りない顔で登校するかなと思っていたのですが、そんな心配は無用でした。セミの大合唱の中、晴れやかな笑顔で久しぶりに登校する子どもたちを迎え、朝から元気をもらいました。課題もしっかりと持ってきていました。大きな袋の中の作品は何でしょう。技術の作品だったのでしょうか。「今朝、起きる時、きつくなかった？」との私の問いに、「大丈夫でした。」「元気です。」と元気よく答えてくれました。（職員室掃除担当生徒）



毎年、夏休みの終わり頃になると思い出す詩があります。高田敏子氏の「忘れもの」という詩です。子どもの頃、国語の教科書に載っていました。保護者の方や生徒のみなさんも、一度は聞いたことがあるかもしれませんね。夏休みとは来年までお別れして、私たちは一足先に授業再開となります。



8月24日（月） 一校長講話より—  
みなさん、おはようございます。

今日から、前期後半の学校が始まりました。  
例年に比べ短い夏休みでしたが、みなさんの夏休みはいかがだったでしょうか？  
夏休みに入る前に、私はみなさんに

### ○いのちを大切にすること

○日頃ではできないことを毎日続けてやってみること の2つをお願いしました。

1 つ目は、今日、元気な顔で学校に戻ってきた姿を見ることができたので、とても嬉しく思っているところです。他地域や他県では、水の事故や交通事故等で小中学生が尊い命を亡くしたという報道を聞いています。今後心配される熱中症や台風などにも注意をし、引き続き、自分や周りの人の命を大切にすることに努めてください。

2 つ目については、後で担任の先生に自己申告をしてください。続けることは簡単ではありませんが、継続し続けると、それはその人の力になり、本物になります。夏休みにやり遂げることができなかった人は、今日を

### 忘れもの

高田敏子

入道雲にのって 夏休みはいってしまった  
「サヨナラ」のかわりに 素晴らしい夕立をふりまいて

けさ 空はまっさお 木々の一枚一枚が  
あたらしい光とあいさつをかわしている

だがキミ！ 夏休みよ  
もう一度 戻ってこないかな  
忘れものをとりにさ



迷子のセミ さびしそうな麦わら帽子  
それから ぼくの耳にくっついて離れない波の音

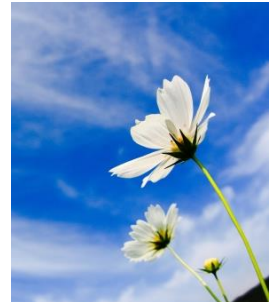
きっかけに是非実践して、体に覚えさせてください。

夏休みに入ってから、猛暑の中、早朝から駅伝や部活動に一生懸命に取り組むみなさんの頼もしい姿を頭が下がる思いで、感心して見ていたのですが、新型コロナ感染防止のために全て中止となりました。

私たち（職員）は、休みの間も、これからの行事やコロナ対策などについて話し合いをしてきました。佐世保市内でもコロナの状況が厳しくなっている中、活動をさせたいという思いと、命を守らなければならないという大きな葛藤と闘っています。これから、体育大会や文化祭、修学旅行、体験学習、野外宿泊学習と大きな行事が計画されていますが、これまでとは異なる実施の仕方になるかもしれません。どのようなことになるか、まだわからない状況ですが、与えられた状況の中で、できることを丁寧に一生懸命取り組んでいくしかないと考えています。

私たちにとって、生徒のみなさんにとって、全ての人にとって、今のこの状況はこれまでに経験したことのない初めての経験です。初めてのことを考え、判断していかなければなりません。

そのためには、みなさんの協力が必要です。みなさん一人一人の力が大きな力となります。このような厳しい状況だからこそ、日野中全員が一致団結して、本気になって頑張っていきましょう。後半も、みなさんの活気溢れるパワーに期待しています。



## 聞いてみました！

夏休みに「継続して何かを行うことができた」という人がどのくらいいたかを各学級で尋ねてもらったところ、130名の人ができたと答えました。全校生徒の約39%です。多いと思いますか？ 少ないと思いますか？

## 続けることの意味について 力を付けたい人に 自信を持ちたい人に

「学ぶ」という言葉は、「まねる」からきているということを本で読んだことがあります。物まねは、本当の力ではないじゃないかと思うかもしれませんが、そうではなく、最初はまねをしたり、形から入ったりしてもよいと思います。職人さんは、師匠の技術を見て自分のものにしていきます。「三日坊主」という言葉があるのは、何かを始めてもなかなか続けることができず、3日位で挫折してしまう人が少なくないからでしょう。でも、長く続けることができれば、身に付いていくし、その人の自信にもなります。

生徒の中には、「うさぎのトイレのお世話を毎日しています。」とか、「お風呂そうじをしました。」「毎日必ず勉強をしました。」「筋トレをしました。」などと話してくれた人がいました。

「夏休みが終わっても続けます。」と言ってくれた人もいて、とても頼もしく思いました。

続けることの一つの目安は、100日だそうです。3か月とちょっと。「石の上にも三年」とことわざがあるように、3年続けられたらその本質がわかり、10年続けられると専門家の領域に入るそうです。新しいことを始めるのは簡単ではなく、それを長く続けることは更に難しいことですが、まずは10日、そしてまた10日と続けていくと100日にたどり着けるのではないのでしょうか。まずは、10日続けてみませんか。



### 熱中症を防ぐために！ 「新しい生活様式」における熱中症予防行動のポイント（環境省 厚生労働省）より

- ◆十分な距離（人と2m以上）をとって、マスクをはずしましょう。
- ◆暑さを避けましょう。（涼しい服装・帽子の着用）
- ◆のどが渇いていなくても、こまめに水分補給をしましょう。（1時間ごとにコップ1杯）
- ◆こまめに換気をしましょう。（本校ではエアコンの温度をこまめに再設定し、扇風機と併用しています。）
- ◆暑さに備えた体づくりと日頃から体調管理をしましょう。（提示の体温測定と健康チェック）

